

4月30日は…

放散虫の日!



詳しくはこの絵本で

※4(フォー)30(さんじゅう)→放散虫



「放散虫」ってなに？

5億年前の古生代カンブリア紀からいる、原生生物の一群です。現在の海にも生き続けている単細胞生物で、シリカ(SiO₂)の殻を持っています。形が放射状に広がるものが多いことから「放散虫」と名付けられました。小さいことで「虫」とついていますが、昆虫や節足動物ではありません。どこの海にもいますが、アメーバ状の体を含めても3mmもないので、気づかないかもしれません。ガラス質の硬い骨格は、死んだあとも壊れずに海の底につもって化石になります。右の写真も化石です。これまでに1万以上の放散虫に種名がつけられています。



ほうさんちゅう ちいさなふしぎな生きもののかたち
監修: 松岡篤 / 文: かんちくたかこ
アリス館 / 1,540円

はじめての「放散虫」ワークショップ

4月30日(日) 14:00-15:00 (場所: 百町森あそび村)

参加費: ひと家族500円(大人の方のみでもOK) ※内容の都合上小学生以上が対象です。



「放散虫の日」を記念して、松岡篤先生をお招きします。放散虫についてのお話や解説、グループを分けて、放散虫トランプを使ってゲームをするワークショップを開催します。恐竜と同じ時代から、今もなお進化を続ける「放散虫」について、この機会にその魅力を知ってみませんか? 夏休みに向けて新しいことを知るチャンスかもしれません。おひとりでの参加も大歓迎です。イベントの詳細は上の二次元コードよりイベントページをご覧ください。

また、同日11時から放散虫についてのライブ配信も予定しております。こちらはどなたでもご覧いただけます。



松岡 篤(まつおか あつし) / 新潟大学

1958年 兵庫県生まれ。アンモナイトの研究者を目指して大阪市立大学に入学。在学時に放散虫の研究が日本の地質の認識を大きく変えた「放散虫革命」に遭遇し、放散虫研究を開始する。プレートテクトニクス分野の付加体研究で理学博士の学位取得。1987年 新潟大学講師に就任、助教授を経て2002年より教授。2014-2017年 国際放散虫研究者協会会長をつとめる。

身近なゲームで学ぼう!



放散虫トランプ / 1,760円
9×6×1.5cm (箱)

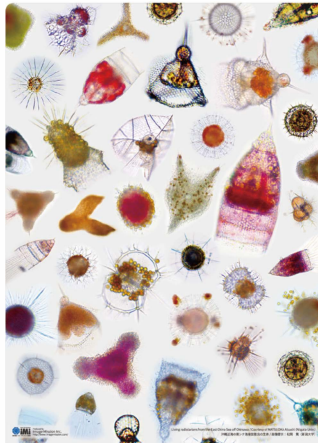
5月3日~

店内にて「太古のロマン展」を開催

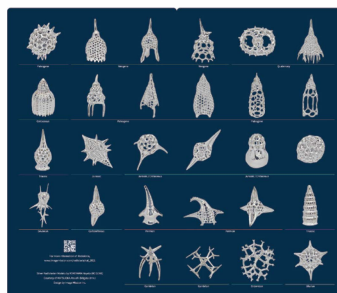
「ほうさんちゅう(アリス館)」の本を中心に、放散虫グッズや、恐竜・宝石や鉱物の本を店内に展開します。



クリアファイル(A) モノクロ 220円



クリアファイル(B) カラー 220円



マスクケース 770円

